

コンゴ川の上流で物々交換の市場に
出会って「お金」って何？ と考えた

安溪 遊地

生物文化多様性研究所

「ごめん！ これより小さいのがなくてね……」

物々交換 (barter) が不便だから

お金が発明されたという通説



<https://notjustanentrepreneur.wordpress.com/2015/02/02/3-modern-day-examples-of-a-booming-barter-economy/>

ふたつの「お金」

貨幣の機能 交換する 価値をはかる 貯めておく

貨幣（一般目的貨幣）——日本銀行券 米ドル

利子を前提とする

グローバルに流通する（両替できれば）

限定目的貨幣（「原始」貨幣）—ビール券のような

コンゴ川の物々交換市場の魚

江戸時代の米（国富の基本、例 加賀100万石）

地域内でのみ通用する通貨→地域通貨

減価する貨幣

1897年～1931年12月 金本位制



兌換券
だかんけん
券カ

此券引換に
金貨拾圓
相渡可申候



和氣 清麻呂
(わけのきよまる)



コンゴ・
ザールの
50ザール札



3種 上ほど新しく小さいのはなぜ？



お金が紙くずに ハイパーインフレの例
100兆ドル紙幣 (2008年ジンバブウェ)





ちょっと買い物をす
るにもお札がこんな
に必要

<http://blog.nihon-syakai.net/blog/wp-content/uploads/img2011/ジンバブエ.jpg>

地域通貨の例→





Hell bank note の 使い方





インフレ抑制を めざした新円切り換え

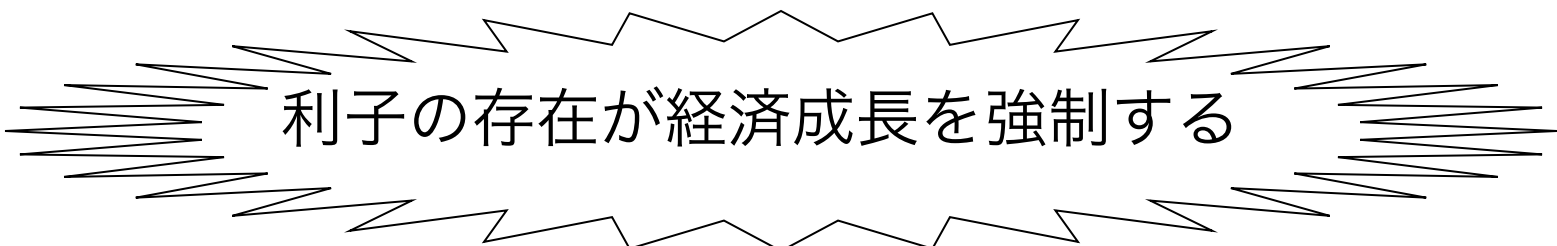
1946年2月16日

1979年12月末に私が
遭遇した 高額紙幣
5ザイールと10ザイールの
交換の騒ぎ

2 なぜ地域通貨なのか？

<http://www.ad-money.com/>からダウンロード

(1) グローバルレベル



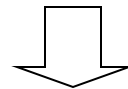
利子の存在が経済成長を強制する

利子経済は、成長を止めればそれ自体が崩壊するシステム

無理な経済成長は環境破壊をもたらす

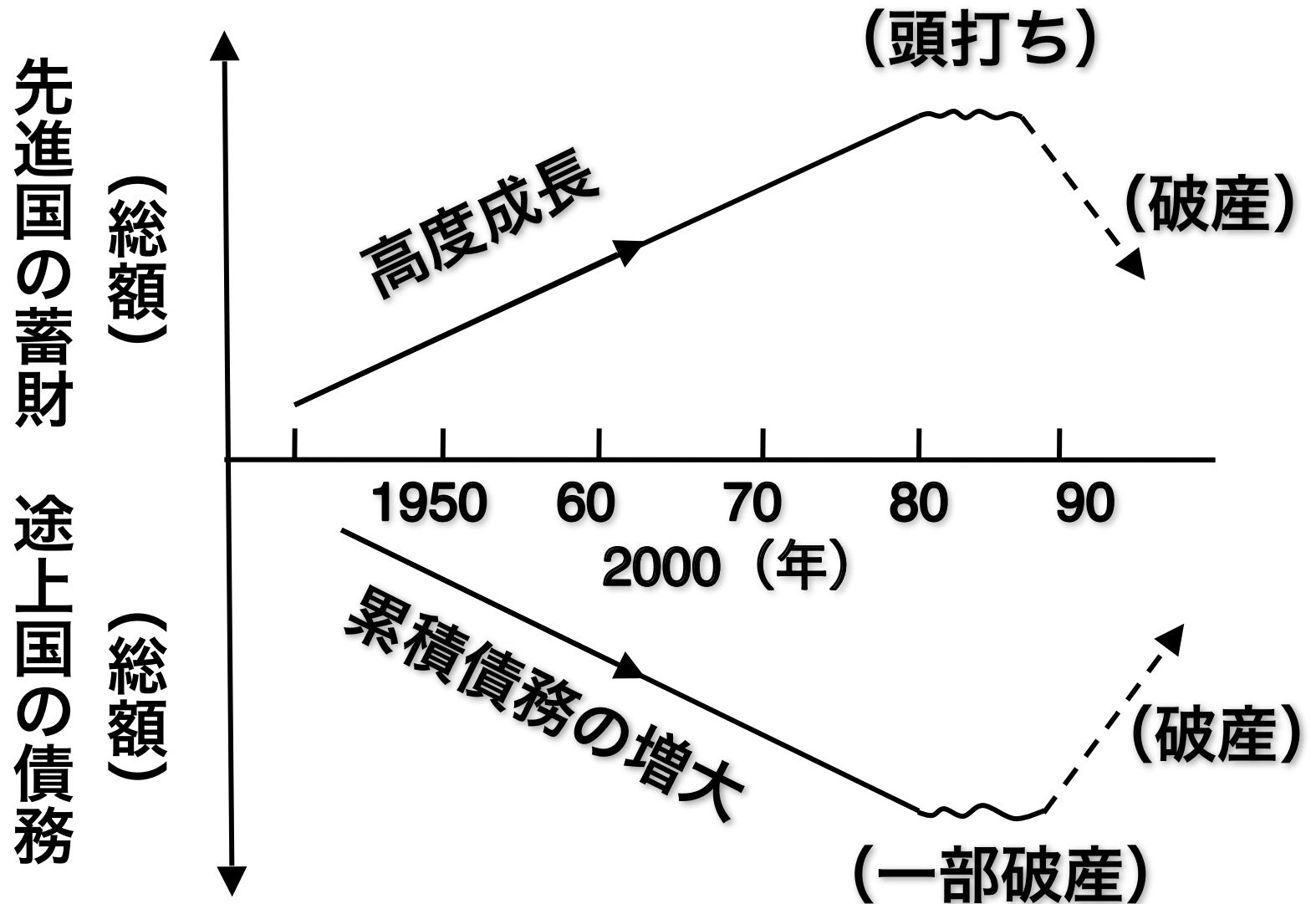
利子経済は、貧富の格差を拡大する

利子のない貨幣システムは可能か？

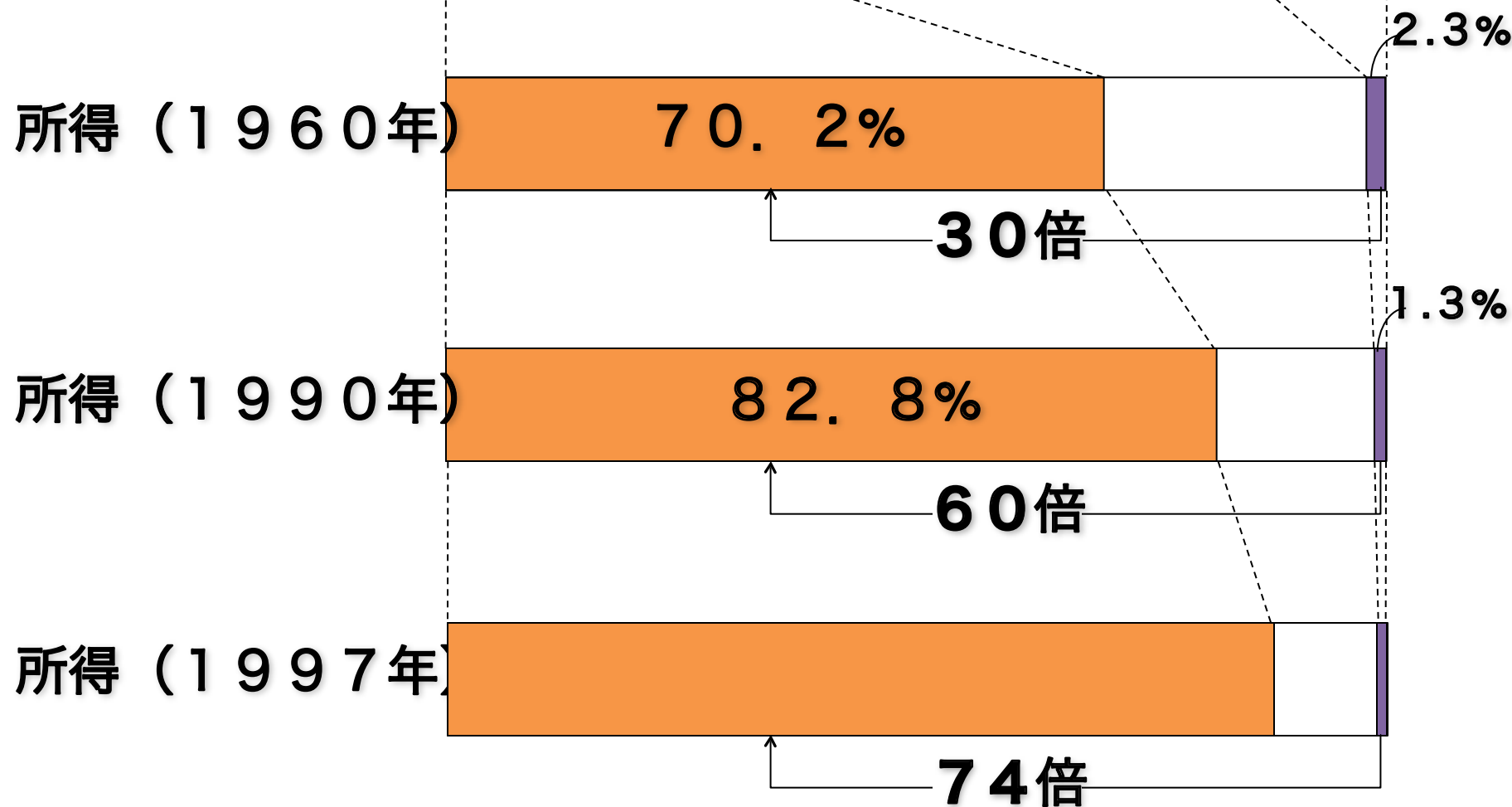
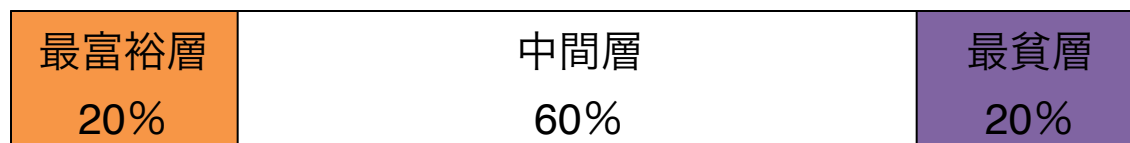


地域通貨の原点は、減価する貨幣

先進国の蓄財と途上国の累積債務



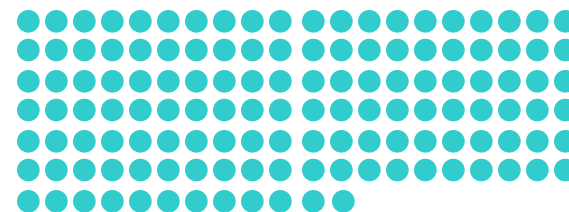
所得層の比率



経済成長は成り立つか？



世界の資源消費が毎年5%ずつ拡大すれば、百年後には132倍



世界の資源消費が毎年3%ずつ拡大すれば、百年後には20倍



2 なぜ地域通貨なのか？

<http://www.ad-money.com/>からダウンロード

グローバルレベル

南北問題、環境問題、人権問題、戦争etc ⇒ 根本には利子経済

ローカルレベル

デフレ不況からの脱却 ⇒ 不足する「貨幣」の補填

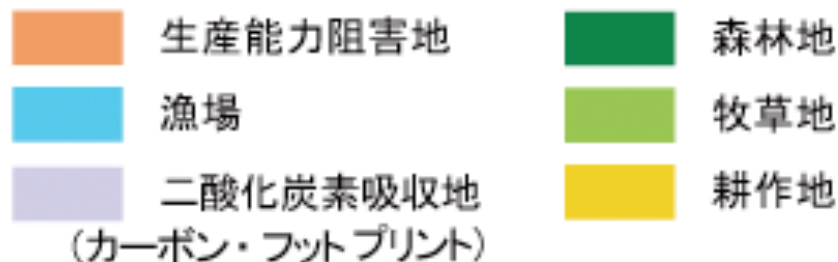
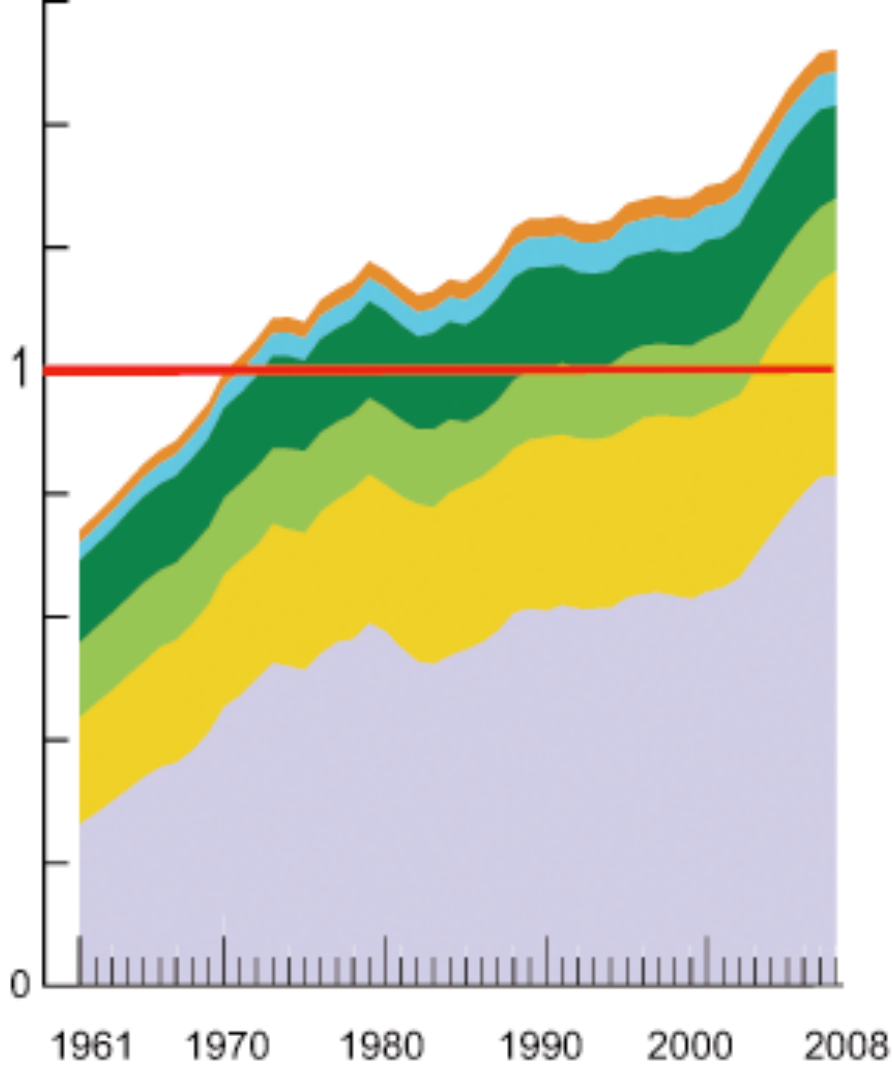
コミュニティ再生 ⇒ 「冷たい」お金から「温かい」お金へ

事業レベル

マーケティング支援 ⇒ 顧客の囲い込み機能

コラボレーション促進 ⇒ 組織化（取引先の囲い込み）機能

エコロジカル・フットプリント (必要な地球の個数換算)



人類の影響
エコロジカル
フットプリント
からは、
すでに
地球 1.5 個分の暮らし

<http://www.wwf.or.jp/earth/>

責任は誰に？

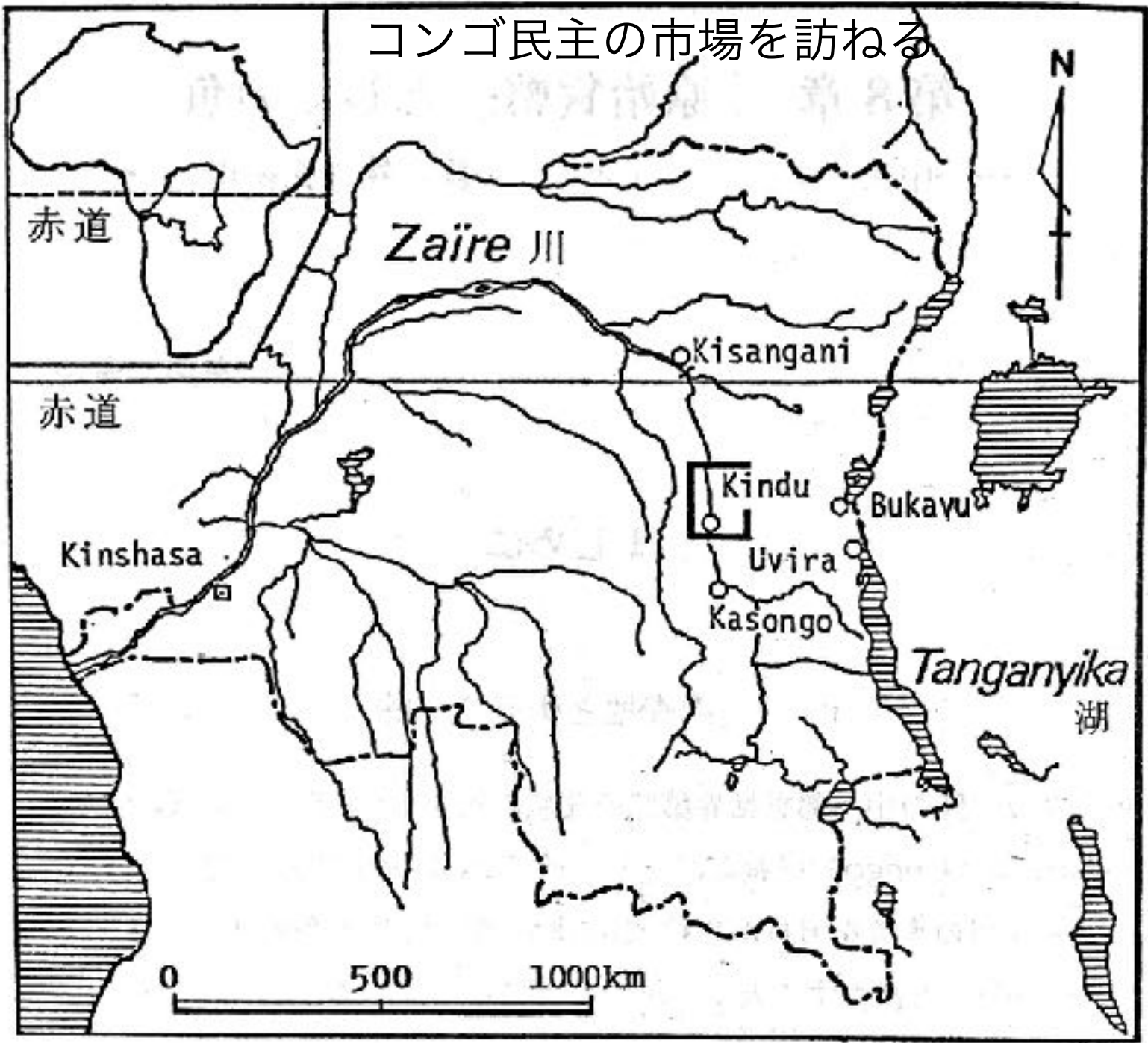


資料：WWF「Living Planet Report 2006」より環境省作成

コンゴ川上流部の 物々交換の市場（いちば）

安溪遊地

コンゴ民主の市場を訪ねる



お金だけが通用する市場も
普通にあるんです。でも、
原則としてお金の使用を禁
止する物々交換の市場が
あって、別の場所で定期的
にひらかれています。

州都Kinduの毎日の市(現金のみ)



買い物は 葉で包む



魚の売り手は女性



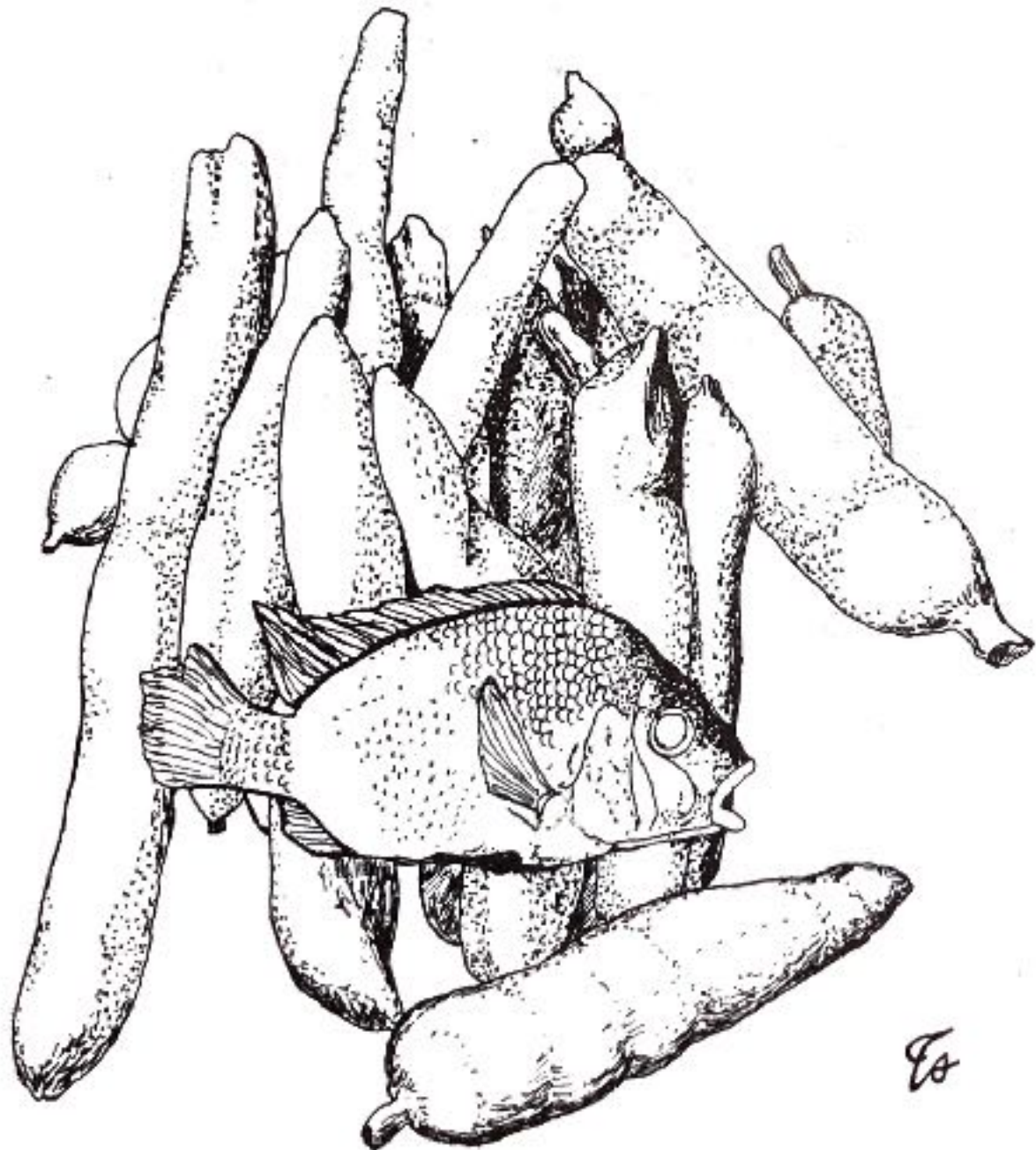
獣の肉



野菜 ヒユ菜



ソンゴーラ人のもとでは、原則お金が通用しなくて、物々交換で取引される市場があることを、森の中の村に滞在して、何ヶ月かしたところで気付きました。そこに行ってみたら、まあ、面白いこと！ アフリカ各地伝統の物々交換の基本をよく残しているという研究が、安溪遊地の理学博士論文Fish as “Primitive Money”（「原始貨幣」としての魚）になりました。



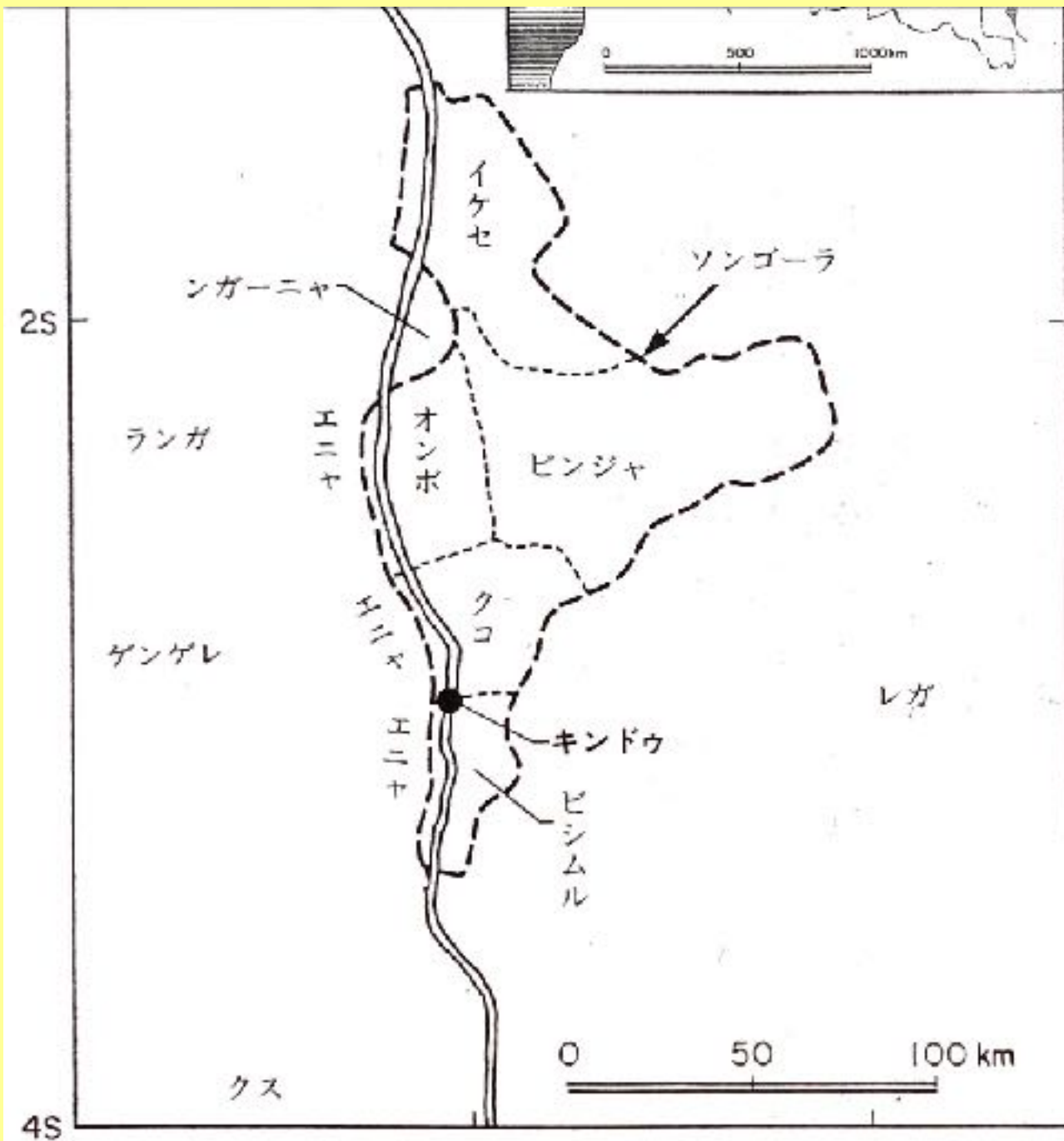
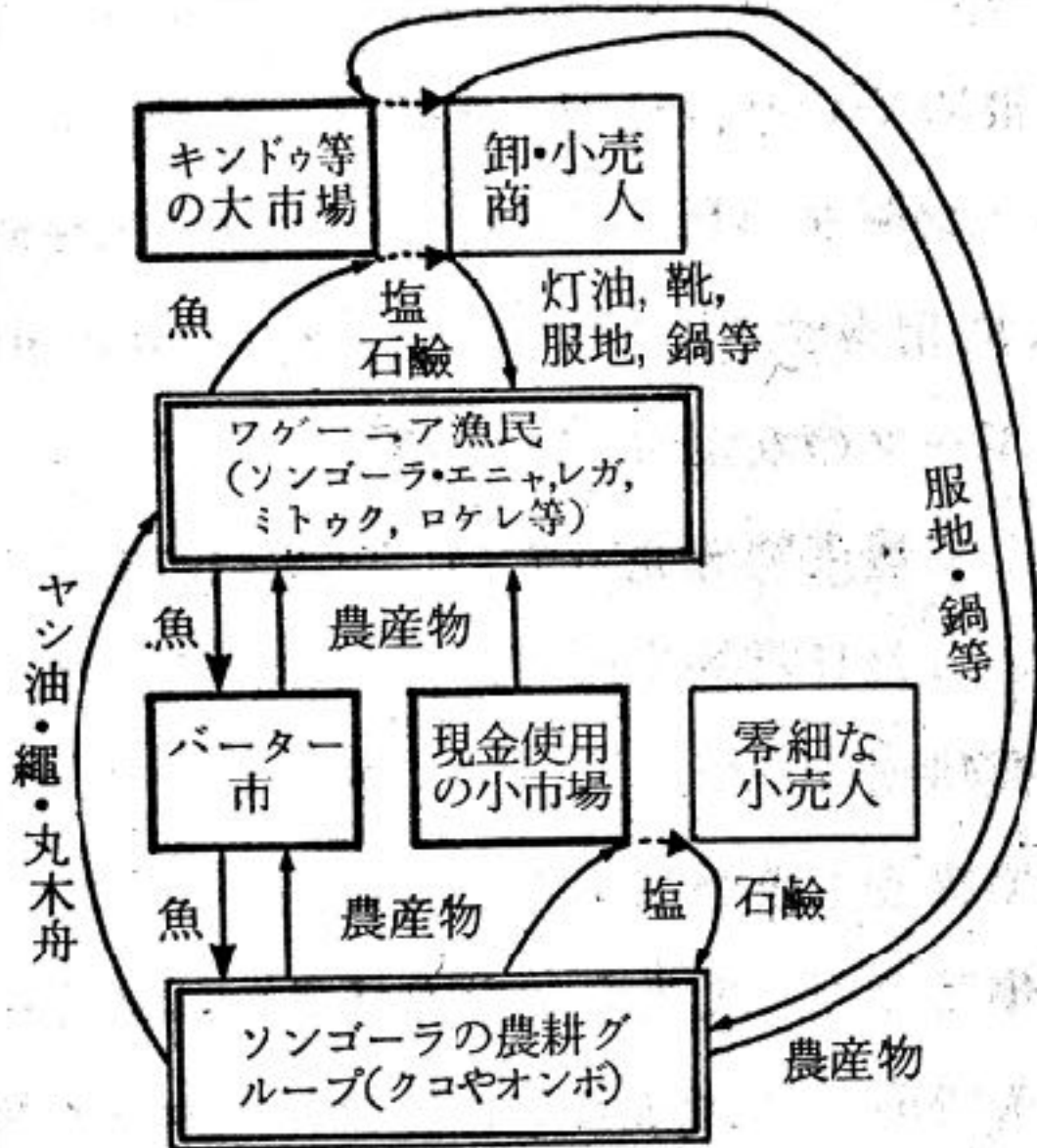


図1. ニジェール川の位置と主要な地域

表1 ソンゴーラの多様性

使用言語 生業	ソンゴーラ 語の諸方言	オンボ語
焼畑農耕民 (森の民)	ク コ 等	オンボ
専業漁撈民 (川の民)	エ ニ ヤ	エ ニ ヤ



魚 : 生魚および干魚
 農産物 : ソゴロ, ニャンギ, リョウリバナナ, 白米など。
 -----> : 入手した現金をその場で使う。

物々交換市に出かける



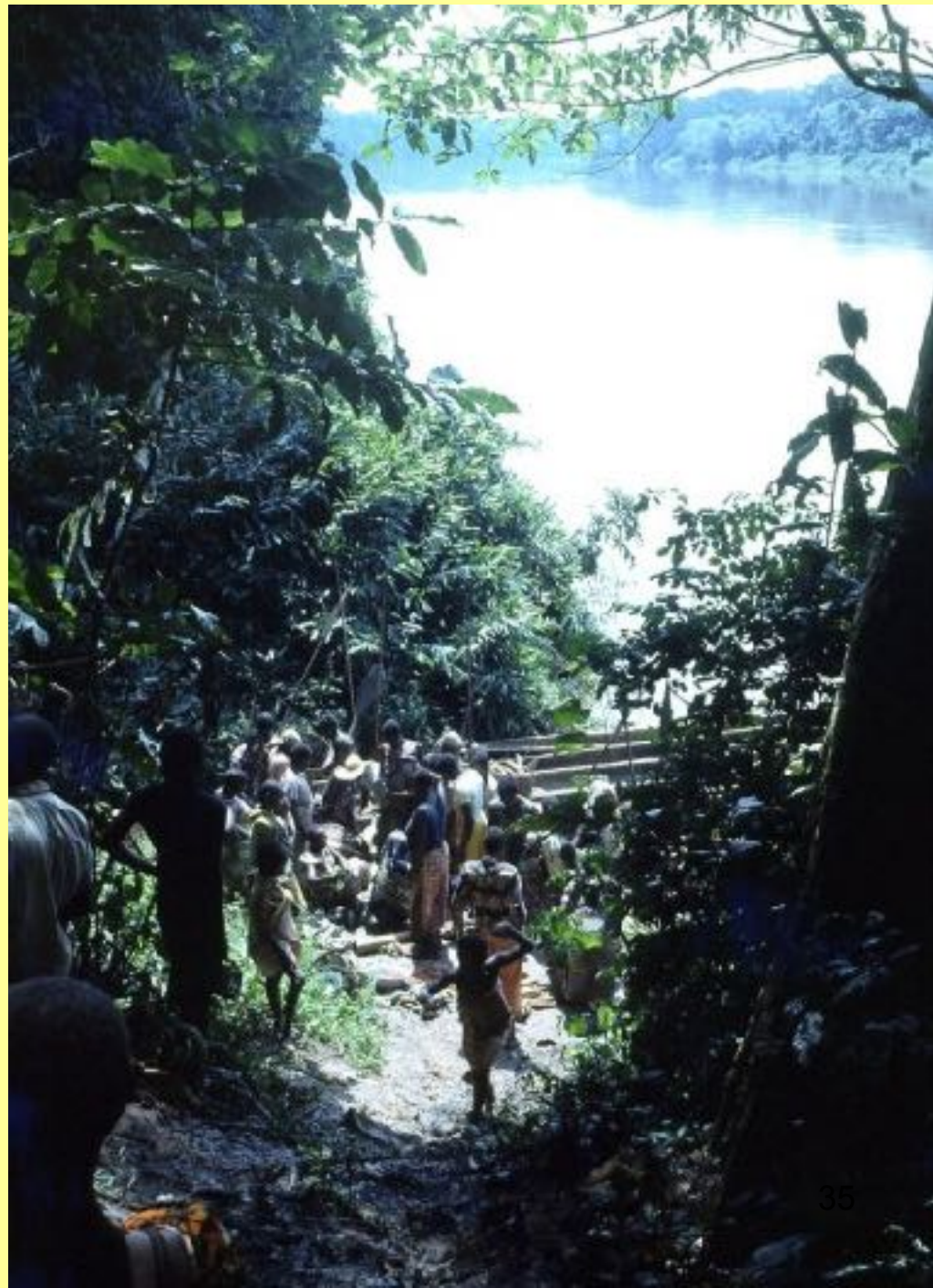
出発！イモ、リョウリバナナ.....



森の中の小道を市場へ



川の
ほとりの
「ささやき
の市」
(植民地時
代には、
弾圧され
たため、大
声が出せ
なかった)



川沿いの村からは丸木舟で

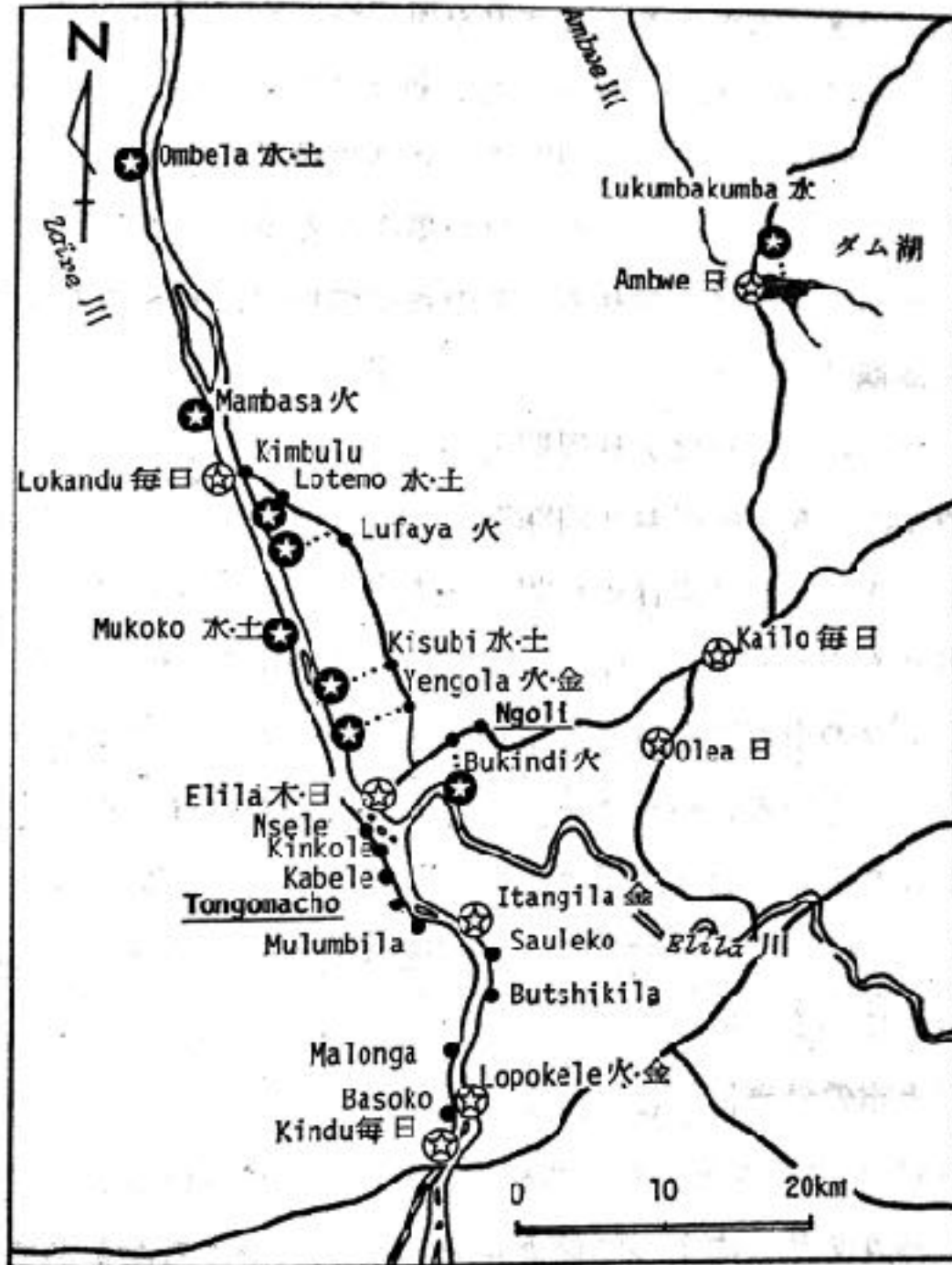


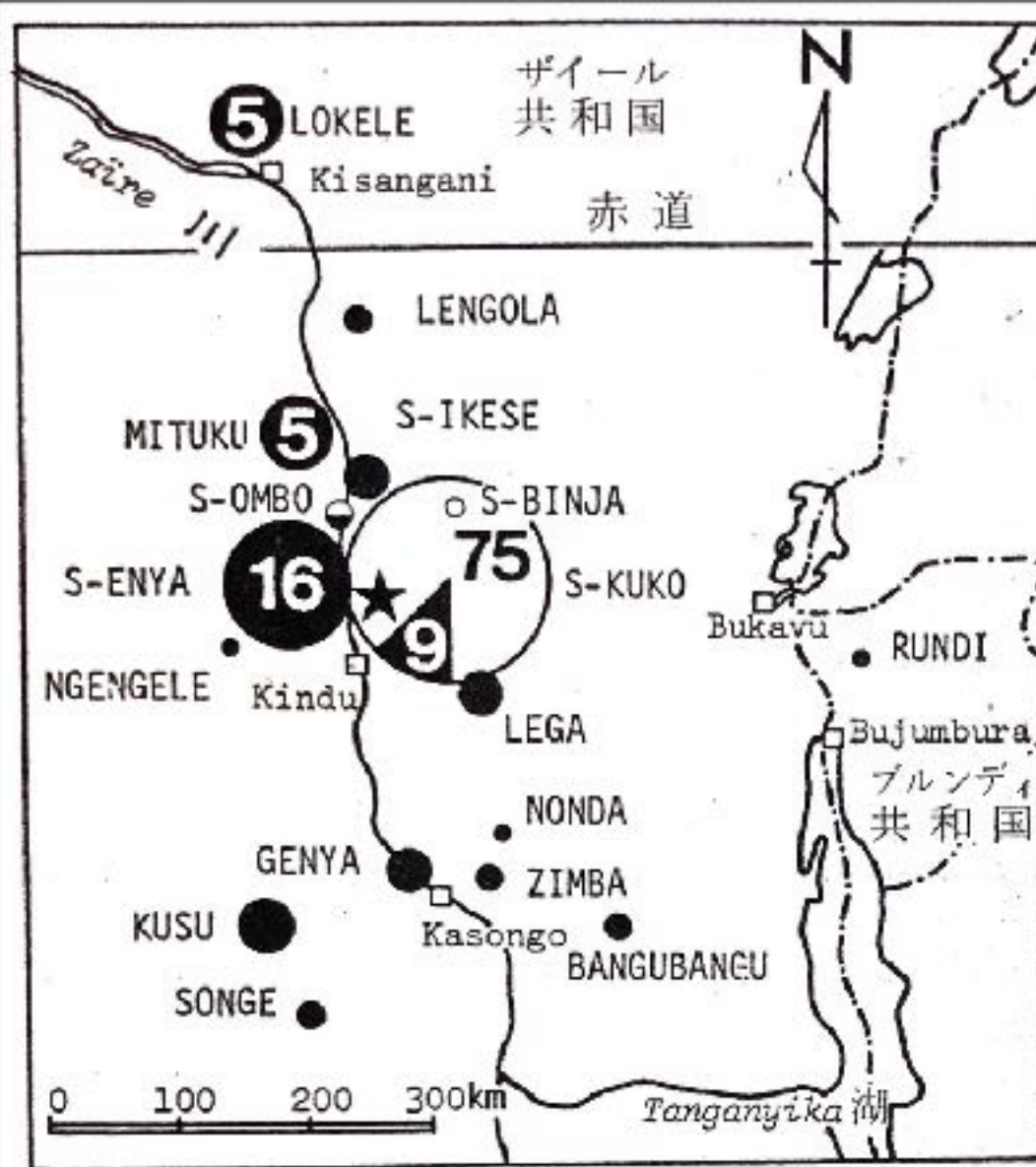
交換開始前 「決まり事」の確認中



市場の監督
の演説。
農耕民・漁民
の双方が守
るべき「決ま
り事」の確認







● 1人 ● 2人 ● 3人 ● 4人
 白い部分は農耕民、黒い部分は漁撈民を示す。
 ★ ブキンディのバター市

取引開始の許可が出た



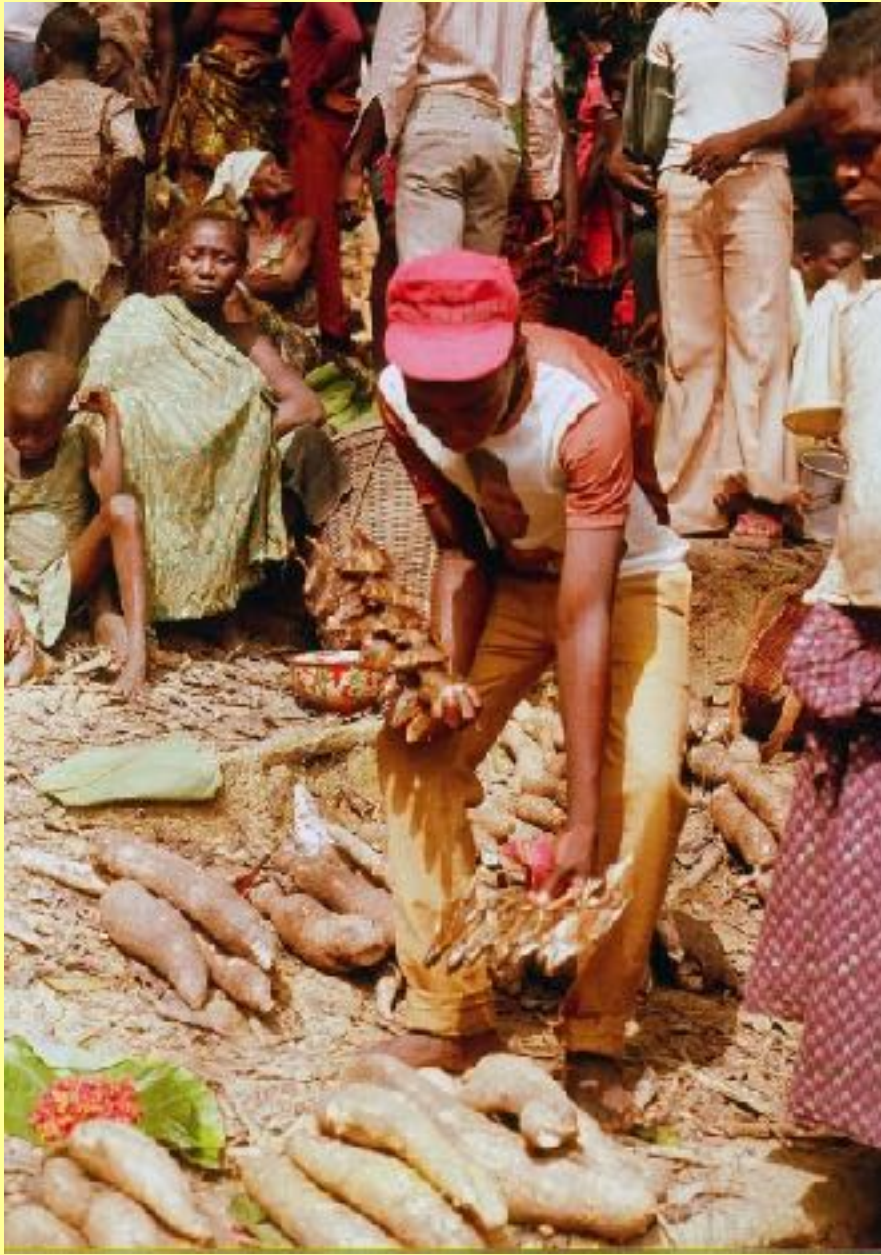
交換の交渉



もう一切れ載せてちょうだい



干し魚も交換される



交換成立：リョウリバナナと魚の切り身



表8-3 プキンディのバーター市への参加者の目的(1980年2月12日)

漁 撈 民	男性			女性			合計
	成*	少	幼	成	少	幼	
魚と農産物のバーター	48	—	—	6	—	—	54
農耕集落でのヤシ油購入	1	—	—	—	—	—	1
蒸留酒の購入	1	—	—	—	—	—	1
漁網用のロープ購入	1	—	—	—	—	—	1
市でタバコを売る	1	—	—	—	—	—	1
夫または大人に伴われて	—	1	—	1	—	1	3
小 計	52	1	—	7	—	1	61人
農 耕 民							
農産物と魚のバーター	—	1	—	60	7	—	68
ヤシ酒と魚のバーター	2	—	—	—	—	—	2
ヤシ油の仕入れ	1	—	—	—	—	—	1
親類との面会	1	—	—	1	—	—	2
暇つぶしのため	1	—	—	1	2	—	4
母親に伴われて	—	—	2	—	—	1	3
小 計	5	1	2	62	9	1	80人
合 計	57	2	2	69	9	2	141人
男 61人				女 80人			

*成：成人、少：少年・少女、幼：幼児

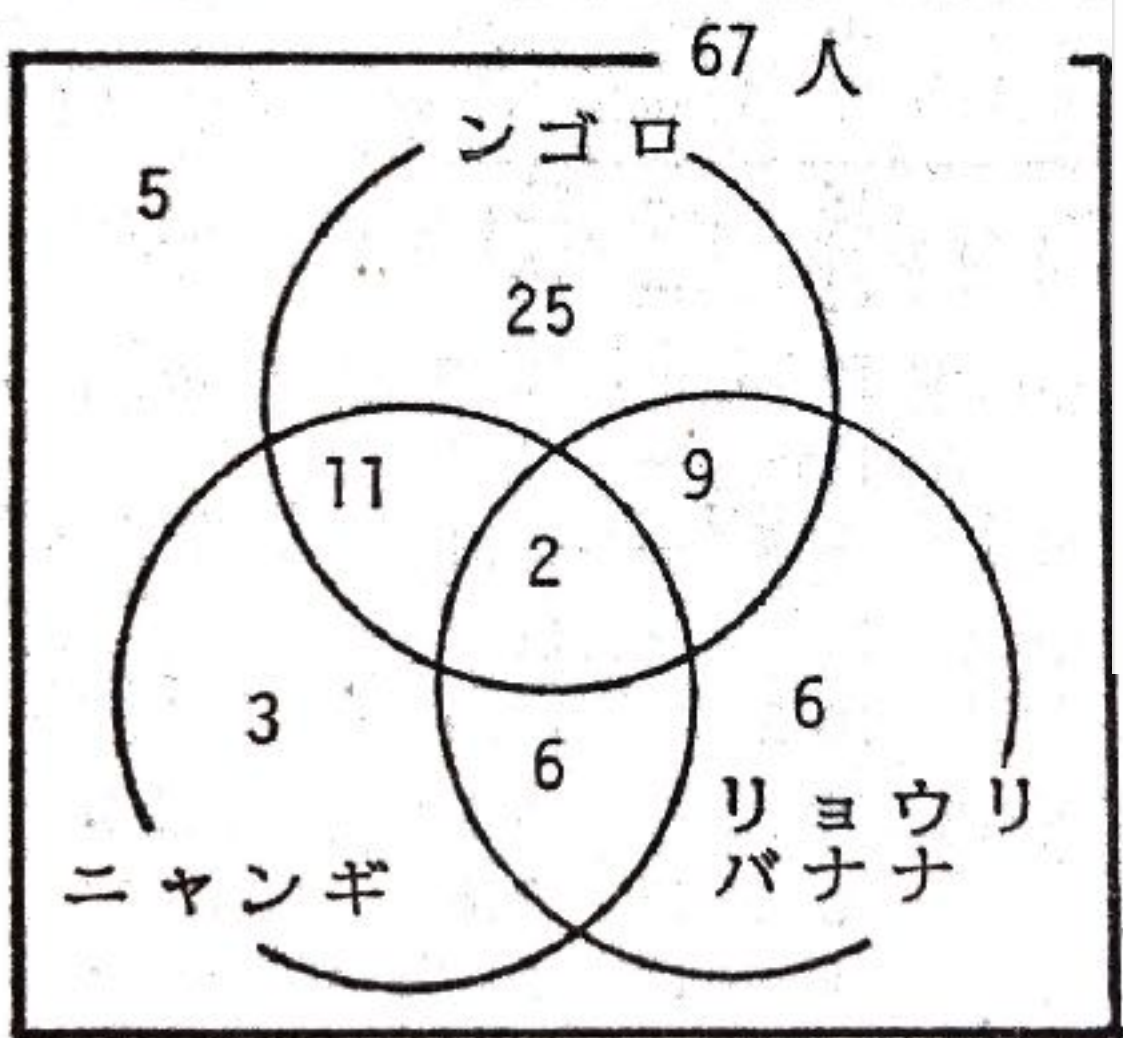
丸木舟 No	漁法	魚名	生	燻製 (kg)	合計
1.	流し網漁	<i>mulonge, pono</i>	15	—	15
2.	"	<i>mukasa, pono, iyomvi</i>	12	—	12
3.	"	<i>mukasa, 2 mutanda</i>	12	—	12
4.	"	<i>2 mulonge</i>	11	—	11
5.	"	<i>mukasa, pono</i>	8.8	—	8.8
6.	ロレカ漁	<i>5 mukasa, nyika, 小魚</i>	14	—	14
7.	"	<i>nyika, 小魚</i>	10.5	—	10.5
8.	"	<i>2 mukasa</i>	4	—	4
9.	ビクトウ漁	<i>2 mukasa, 燻製魚 9 山</i>	5	1*	7.8
10.	"	<i>3 mukasa</i>	5	—	5
11.	"	<i>mpoto, pengele, kafeke, 小魚</i>	4.4	—	4.4
12.	"	<i>mukasa, pengele, kemembe</i>	2.5	—	2.5
13.	"	<i>lubuku, mukasa</i>	2	—	2
14.	"	<i>mukasa</i>	—	1.7	2**
15.	"	<i>sila, mooli</i>	1.5	—	1.5
16.	"	小魚	1.3	—	1.3

*生魚2.8kgと換算。

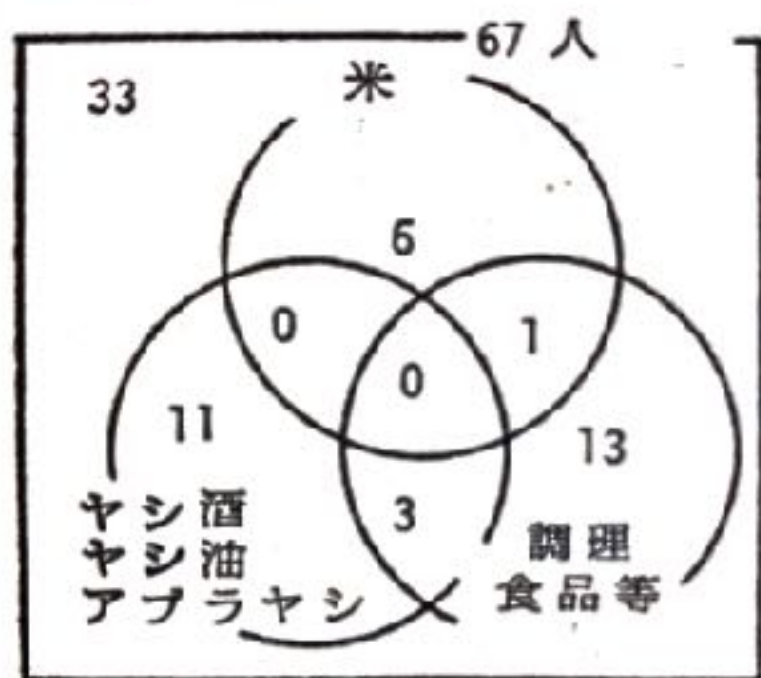
***mukasa* はごくわずかしか乾燥していなかった。

表8-5 丸木舟一隻当たりの魚の量

(A) 三大主食



(B) 三大主食以外



乾燥キヤツサバと生魚1匹



全体の交換がおわってから運ぶ



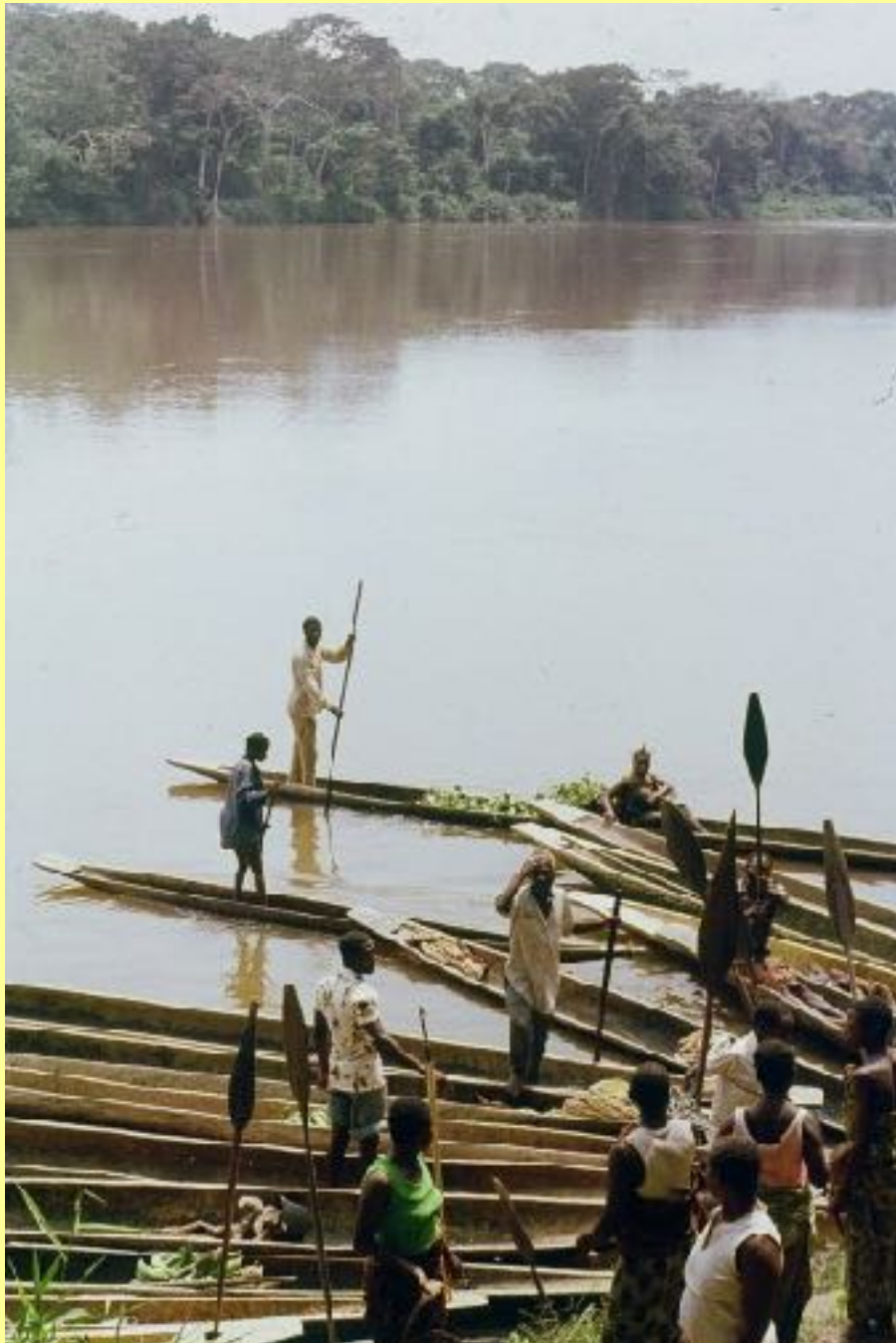
ヤシ酒とタバコでくつろぐ漁民



舟に運び込む時もトラブルのないよう



手に入れた農産物を
舟に積んで村へもどる





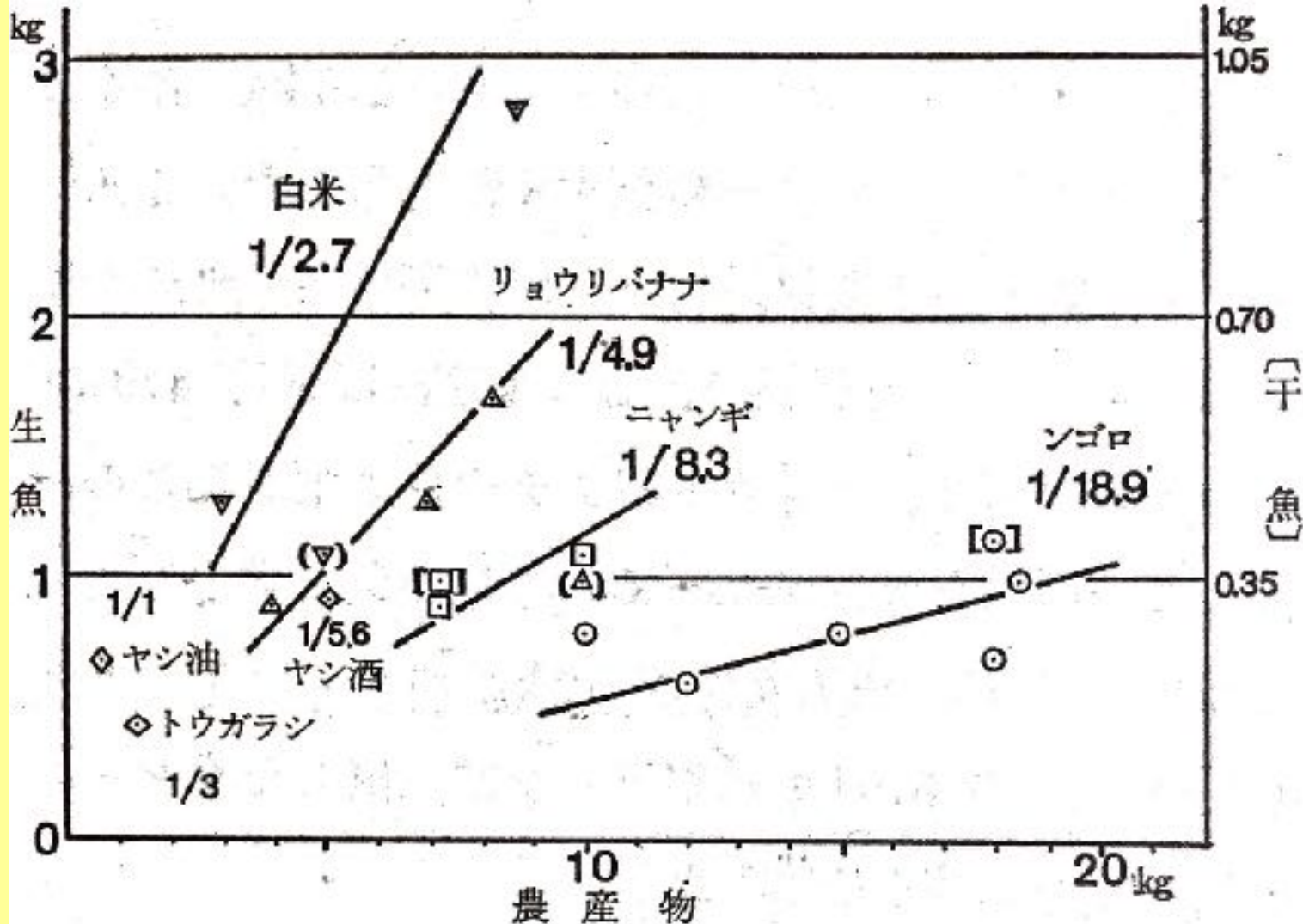
監督（右）と
追加で選任された、
農民側の監督（左）

舟には漁具がある



農民たちは途中の小川で魚をさばく





[] 中の記号は、干魚とのバーターの例で、右側の縦軸と対応している。
 () 中の記号は、バーターに不慣れた15歳の少女が行なった農耕民にとって不利なバーターの例。平均的レートの算出にあたっては除外した。

図8-12 魚と農産物のバーター・レート

表2 トンゴマチョ集落での農産物の入手状況

場所 \ 方法	バーター で入手	現金で 購入	贈り物	熱量 合計
バーター市	36.1	7.0	12.4	55.5
現金使用市	0	32.9	0.8	33.7
熱量合計	36.1	39.9	13.2	89.2

(単位は1万kcal, 1980年1月19日からの2週間)

贈り物はすぐ食べられる食品やヤシ油などで、単なる熱量に換算することができない価値をもつ。

さらにコンゴ川をさかのぼって
物々交換の市場をさがしてみた。
250キロの丸木舟の旅（1983年）

河口まで3000キロのコンゴ河畔



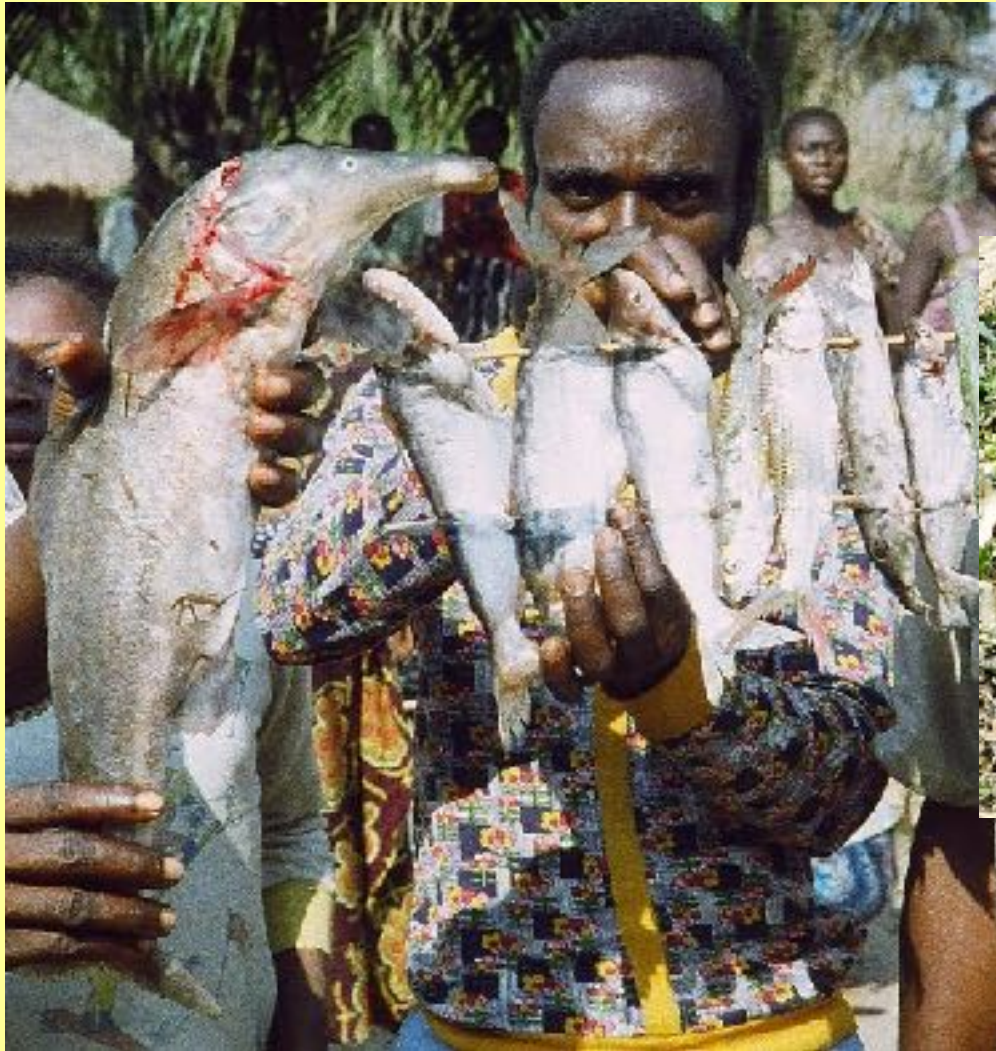
たくさんの参加者で賑わう



物々交換と現金の併存



たくさんの魚が



魚の一山





ザイール河畔

帰属意識 (支族)	ソ ン ゴ ー ラ 族 (オンボ) (エニャ) (クコ等)
言 語	オ ン ボ 語 ソンゴーラ諸方言
生業形態	焼畑農耕 漁 撈 焼畑農耕 (バーター) (バーター)
生活環境	森 林 川沿い 森 林

イトウリの森

帰属意識	ビラ族 ムブティ レセ族
言 語	ビ ラ 語 レ セ 語
生業形態	焼畑農耕 狩 猟 焼畑農耕 (バーター) (バーター)
生活環境	畑休閑地 森 林 畑休閑地

表 1 共生的関係と固有の言語の喪失——ソンゴーラ漁労民とムブティ・ピグミーの例の比較

ソンゴラ人の物々交換市と 伝統的アフリカ経済の共通性

- » 1 かなりの部分が物々交換される
- » 2 交換レートはある程度固定されている
- » 3 信用貸しや後払いによって効率高い
- » 4 贈り物もあるが物々交換とは区別される
- » 5 需要の高いものが物々交換の対象
- » 6 魚とイモのように品物が対になる
- » 7 異なる食品の交換で社会的に結びつく

おまけ
援助で衛星テレビが
見られるようになった。



物々交換実践中です

ストーブの灰 ← → 沖縄の木灰スバ



参考文献・URL

- 「地域通貨」（嵯峨生馬著、NHK出版）
- 「エンデの遺言 根源からお金を問うこと」（河邑厚徳＋グループ現代、NHK出版）
- 日本の地域通貨リスト <http://www.cc-pr.net/list/>
- 世界の地域通貨の例 http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Cosmos/3702/local_currency/lc-03.html

ソンゴーラの経済人類学（和文）

安溪遊地、1984 「『原始貨幣』としての魚」 『アフリカ化の研究』 アカデミア出版会

安溪遊地、1984 「ザイール川上流部の物々交換市」 『人類学研究』 49(2): 169-173

安溪遊地、1991 「再訪・ソンゴーラの物々交換市」 『ヒトの自然誌』 平凡社